

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	環境保全対策事業			
予算科目	4 款 1 項 6 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 環境の保全			
所管課情報	担当課:	環境保全課	電話番号(内線):	535
記入者情報	所属長:	出来 和人	担当責任者:	窪田 春樹
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	事業者及び市民			
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、PCB特措法			
事業の目的	これまで豊かで便利な社会を目指して経済的な発展を遂げてきたが、公害問題や良好な自然環境の喪失を伴ってきたことから、大気・水質・騒音・振動・悪臭・化学物質等の定点観測や分析を行い、問題があれば原因究明と解決に向けた方策を講じて環境破壊を未然に防止する。			
事業の内容	環境審議会の開催、水質・騒音・悪臭の定期調査、循環型社会づくり等を目的とする団体の育成、PCB廃棄物の処理			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	改正した環境審議会条例をもとに新たな委員を選任し、環境行政にかかる専門的な審議を行うことのできる体制を整える。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,234	23,438	316	19,566
	人件費	4,067	4,772	2,386	4,772
	合計	0	28,210	2,702	24,338
人件費 内訳	人工数	0.50	0.60	0.30	0.60
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,067	4,772	2,386	4,772
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,301	28,210	2,702	24,338

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
環境審議会の開催	回	0	5	3	4
水質等の定期調査	種類	5	5	0	5
補助金交付団体数	団体	0	2	0	0
PCB廃棄物処理(高濃度・低濃度)	回	-	2	0	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,000	2,000	2,000	2,000	2,000	12,000

成果指標				
成果指標	公害問題発生件数(件)			
指標設定の考え方	環境破壊を未然に防ぐには、まず深刻な公害問題を発生させないことが重要と考えて設定。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度が一般廃棄物処理基本計画の策定年であるため、有識者を委員とする環境審議会を立ち上げ、事務局が示した計画案をもとに審議を行った。その後、市民意見公募を経て今後10年間を見据えた一般廃棄物の管理及び適正処理に関する方針を定めると同時に、年度毎の実施計画を策定した。こうした経緯もあり活性化した審議会であるが、今後も環境行政の諸課題について能動的な審議が行えるよう、会議の運営に積極的に関わって参りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度が一般廃棄物処理基本計画策定の年であるため、有識者を委員とする環境審議会を新たに立ち上げ、事務局案をもとに審議を行った。委員からの意見を取りまとめ、答申を得た。その後、市民意見公募を実施し、今後10年間を見据えた一般廃棄物の管理及び適正処理に関する方針を定めると共に、年度ごとに策定する実施計画も策定した。今後も審議会へ諮問する事項の検討を行い、審議会を活性化させたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・地域住民の参画と協働というコンセプトで苦勞されている。最初はNPO等を育てていく取組も大事にしてほしい。・定期的に水質などの調査をしているおかげで大きな問題になっていない。引き続き未然防止に努めていただきたい。・不法投棄は、地域住民が参画しないと、未然に防げないと思う。地域住民参画の下、事業を進めていただきたい。・割と大きな事業名になっているが、内容は廃棄物の問題限定となっている。いろんなことをやる中で廃棄物が中心なのか、それとも数年は廃棄物を中心にしてほかの分をやっていくのか。どこかにはっきりと示した方が良いと思う。・一般廃棄物処理という実施計画に対し、どれだけ実現できたかということ成果指標にすれば、実施計画が生かせる。・PCBの処分に改めてお金がかかるということはよく伝わったのではないかと思う。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	